



長野県民生児童委員だより

Vol.146

2022
Winter

令和4年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員
協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 広報委員会
委員長 月岡 幽美子

〒380-0936
長野市大字中御所字岡田98番地1
(長野県社会福祉協議会内)

特集 災害への備えを考える

Contents

- ◆ 新年のごあいさつ
阿部守一長野県知事、伊藤篤志会長 …… 2
- ◆ 特集 災害への備えを考える
事例 松本市の取り組み …… 3
地域と連携して避難行動要支援者
支援を効果的に進めるには? …… 4~5
- ◆ 民児協訪問
南相木村民生児童委員協議会 …… 6
山形村民生児童委員協議会 …… 7
- ◆ 被表彰者ご紹介 …… 8

令和4年(2022)新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

新年あけましておめでとうござ
います。謹んで新春のお慶びを申
し上げます。

民生委員・児童委員の皆様にお
かれましては、日々、地域住民の
身近な相談相手として、地域福祉
の中心的役割を担っていただいで
いることに對し心より感謝申し上
げます。

新型コロナウイルスとの闘いが
続いています。昨年、県内では3
度の大きな感染の波に見舞われ、



民生委員協議会
児童委員連合会
長野県児童連合会
会長
伊藤 篤志

謹んで新年のお慶びを申し上げ
ます。

昨年は前年からの新型コロナウイルス
の影響により、民生委員児
童委員活動は毎月の定例会、各種
の研修会や連絡会議などをはじめ
担当地区の訪問活動が制限され、
皆様には感染拡大防止に注意を払
いながら支援する人々が孤立しな
いよう、創意工夫を凝らし活動し
ていただきましたことに心から感

「医療非常事態宣言」を発出する
事態となりました。この間、幾度
もの危機を何とか乗り越えてくる
ことができましたのは、ひとえに
医療関係者の皆様の御尽力と、県
民・事業者の皆様様の御理解・御協
力のおかげであり、心より感謝申
し上げます。

今年には次の6点を重点テーマとし
て県政運営にあたってまいります。
まずは、新型コロナウイルスか
ら県民の命を守るための取組です。
感染状況に依りて的確かつ迅速な
対策を講じるとともに、ワクチン
追加接種のための体制整備、医
療・検査体制の確保等を踏まえた
社会経済活動の活性化に全力を尽
くしてまいります。

謝を申し上げますとともに敬意を表
します。

昨年10月に民生委員・児童委員
が活動しやすい環境の整備の一環
として、長野県健康福祉部地域福
祉課が示した「民生委員・児童委
員 活動の目安と考え方に関する
Q&A」の作成に協力いたしました。
このQ&Aは、具体的な事例
における対応の目安に加え、相
談・連絡先を明確に表すことによ
り、特に新任委員の精神的な不安
の軽減と活動の効率化を図ること
を目的としています。それぞれの
市町村で実情に合うよう手を加え
ていただき、日々の活動の参考
にするとともに、定例会や研修
などでも活用していただければ

次に、災害に強い県土づくりで
す。令和元年東日本台風災害や昨
年の大雨災害等で被災された方々
が一日も早く普段の生活を取り戻
せるよう、速やかな復旧・復興を
進めてまいります。

3点目は、コロナ禍で傷ついた
産業・暮らしの復興です。苦境に
立たされている事業者を応援する
とともに、信州回帰プロジェクトや
観光地域づくりの推進などにより
人や企業を積極的に呼び込みます。
4点目は、脱炭素社会の構築で
す。分野別に必要な施策を推進す
るとともに、企業や市町村、大学、
若者等が連携する場を設けること
により、2050ゼロカーボン実現に
向けた取組を一層加速していきます。

幸いです。

また、例年ですと民生委員児童
委員研修は1期目と2期目以上の
区分で県下4会場において開催さ
れておりましたが、今年度はコロ
ナ禍の対策として研修用DVD動
画を作成し、これにより民児協毎
に研修をする方式となりました。
すでにこの動画を利用し研修を
行った民児協もあると思いますが、
内容は「事例学習の進め方」を研
修するものです。同志社大学の土
野谷加代子名誉教授を講師に迎え、
長野市民児協の協力を得て2つの
事例について学習する模様が収録
されていますので、是非この進め
方を参考に定例会などで事例検討
を行ってみてください。

5点目は、誰一人取り残さない
公正な社会づくりです。県民の皆
様が希望を持って安心して暮らす
ことができるよう、コロナ禍で生
活に困窮している方々への支援、
誰もがお互いの違いを認め合う共
生社会づくりなどを進めます。

最後は、誰もが主体的に学び続
けられる社会づくりです。一人ひ
とりが充実した人生を送ることが
できるよう、学びの環境改善、リ
カレント教育やリスキリング(働く
人の学び直し)の充実に取り組みま
す。結びに、今年がコロナ禍を克服
する一年となること、そして、皆
様方にとってよき一年になります
ことを心より祈念し、新年の御挨拶
といたします。

さて、本年は今年最後の年とな
り、3年毎に開催する県大会を安
曇野市で行う予定です。また、秋
11月には改選を迎えます。

コロナ禍のため制約の多かった
今期、十分な活動ができなかった
と思っていられる委員の方も
多いと思われまます。できることな
ら地域の皆さんと相談をしていた
だし、今期できなかつたことを再
任のうえ存分に力を発揮してい
ただけたらと考えます。いかがで
しょうか。

結びに、新しい年がコロナも収
まり、災害もなく普段の活動がで
きることを願うとともに、皆様の
ご健勝とご多幸を祈念申し上げます。
新年のごあいさつといたします。

「災害対策基本法」改正に基づき、平成25年には「避難行動要支援者名簿」の提供先の一つとして民生児童委員が挙げられ、30年度には支援活動に関する指針が作成されました。平常時の取り組みが重要とされ、行政や町会、消防、社協などと地域ぐるみの体制づくりが求められています。松本市の取り組み、県社会福祉協議会が推進するABCアセスメント、本誌つなぐ月岡広報委員(飯山市)から令和元年東日本台風時の経験談を紹介し、災害への備えについて改めて考えます。

事例 松本市の取り組み

要支援者名簿を地域関係者に広く提供すると同時に、スマホでの緊急連絡網をスタートした松本市を、同市の民生児童委員でもある赤羽広報委員と訪ね担当者に聞きました。

※インタビューさせていただいた松本市の担当者
 ●松本市健康福祉部福祉政策課 課長補佐(地域福祉担当係長)：野口典宏さん、
 ●計画担当主任：大澤竜太郎さん

要支援者名簿を地域関係者に広く提供

赤羽 松本市の名簿提供について教えてください。

担当 平成25年に災害対策基本法が改正され、自治体に避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられました。松本市では令和2年度に制度を見直し、町会役員や民生児童委員に名簿と要支援者を落とし込んだ地図を提供しています。(写真1)

赤羽 提供内容を教えてください。

担当 氏名・生年月日・性別・住所・電話番号・支援が必要な事由・救急医療情報キットの登録



(写真1) 要支援者を独居高齢者・高齢者世帯・独居世帯・同居世帯の4つを色分けして地図に落とし込んでいます。民生児童委員には担当地区のものだけを渡します。

録の有無など必要最低限の情報です。年2回情報を更新して地域関係者に名簿と地図を提供しています。

赤羽 ご本人の承諾が必要ですか。

担当 令和2年度から条例で定めをし、要介護3以上など名簿掲載の対象となる方は、本人の申請がなくても名簿掲載拒否の申し出がない限り地域関係者へ名簿情報が出せる様になりました。その他、要件に該当しない方は、名簿掲載申請が必要です。
赤羽 提供先とは具体的にどこですか？

※緊急連絡先を専用ケースに入れて冷蔵庫に保管すると同時に市にも登録。緊急時に救急隊員などが活用します。

担当 民生児童委員・町会長や隣組長・自主防災組織・消防団・市社協・地域包括支援センター・広域消防局・警察署にそれぞれ管轄する範囲の対象者の情報を提供します。特に民生児童委員や町会長や隣組長などについては、担当地区の情報を専用ファイルに入れてお渡ししています。

赤羽 提供目的は何ですか。

担当 自助と共助の範囲において、身近な地域での見守りや避難支援の体制づくりなどを進めるための基礎的な名簿としており、掲載者全員の救助などを義務付けているものではありません。

緊急時の伝達メールをスタート

赤羽 伝達メールについて教えてください。

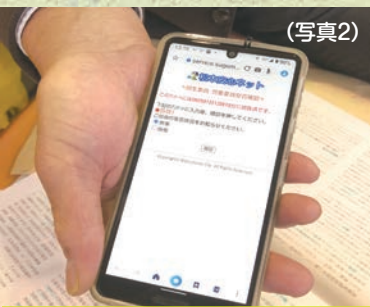
担当 令和2年9月に運用開始しました。事前に携帯電話のメールアドレスを登録していただき、緊急時に市から情報を発信するメールシステムです。民生児童委員544名中、7月末までに64.5%、351名に登録いただいています。近年の台風災害を受け、災害時のスムーズな情報共

有を目的に、危機管理課と福祉政策(前福祉計画)課が共同で進め、会長会や定例会で職員が説明させていただきました。

赤羽 令和3年8月14日の大雨では「避難所が開設されました」という情報が来て、自分の担当地区の情報がわかり、様子を見に行くことができました。

担当 発災時に避難所開設や閉鎖の情報を、登録いただいている民生児童委員に直接送ることが出来ます。また、民生児童委員がボタン一つで安否を市へ返信できるようにもなっています。(写真2)。できるだけ多くの方にご活用いただきたいと考えています。

赤羽 災害時には、我々も気が付いた情報をなるべく早く市に伝えたいですね。ありがとうございました。



(写真2) 松本安心ネットを使って、緊急時にスマホで民生児童委員自身の安否確認を市に直接送信できるシステム(写真協力:赤羽委員)

地域と連携して避難行動要支援者支援を効果的に進めるには？

～ABCアセスメントで
支援の優先度を検討しましょう～

近年、全国のどこかで大きな災害が発生しています。昨年は静岡県熱海市の他、県内でも岡谷市や茅野市等で土石流が発生し、尊い生命が奪われたことは記憶に新しいところです。

近隣同士の関係希薄化による支え合い力低下や、高齢化により地域内に災害時要支援者が増えている中、地域を挙げた支援活動に活かすことを目指し、県内では「ABCアセスメント」「災害時住民支え合いマップ作成」が進んでいます。その概要を長野県社協の橋本昌之さんにお聞きしました。

まず自分の生命を
第一に考え行動する

昨年八月豪雨の際、長崎県西海市では「怖いから来て欲しい」との連絡を受けて高齢者宅を訪問した民生委員が災害に巻き込まれて亡くなりました。災害時の対応では、民生児童委員の皆さんも「まず自分の生命を守る」ことが大切です。

地域住民や団体と
協働で取り組む

「地域のなかで要支援者の対応は民生児童委員の役割」というイメージが強い傾向にあります。

しかし平時と異なり、災害時は一度に多数の方の対応が必要になり、委員一人に対応することは不可能です。「災害に備える民生委員・児童委員活動 10か条（全市民連発刊）」にも示されているように、平時から自治会や地域の関係団体と地域防災について連携していくことが大切です。

支援の優先度を
判断するために
「ABCアセスメント」
を行う

豪雨土砂災害などに備え、各自治体ではハザードマップを作成してお

り、被害想定地域にお住まいの方は協力して近隣の要支援者に対する迅速な避難支援が求められています。が、かといって近隣住民だけで要支援者全員を同時に支援することは困難です。

そこで歩行が困難な方や判断が難しい方など、避難に時間や人手が必要な方から優先的に支援できるように平時から検討しておくために「ABCアセスメント」（NPO法人さくらネット石井布紀子氏が提唱）を長野県社会福祉協議会では推奨しています。

ABCアセスメント
とは？

ABCアセスメントとは要支援者の状態で大きくA、B、Cの3ランクに分けて支援の優先順位を検討するものです【図1参照】。

自力での移動が困難な方については支援の優先順位が高くなることは実感があると思いますが、自分で動くことが出来ても難聴により呼びかけが聞こえなかったり、軽度の認知症等で危険認識ができない方についても早めの避難支援が必要になります。

では各ランク毎の対応ポイントを以下のとおり確認しましょう。

(Aランクの方への対応)

一般避難所への長期避難生活が困難な方もいますので、施設のショートステイや福祉避難所等の検討も含め、事前にご本人、ご家族、地域の皆さんと一緒に避難先を検討しておくことも重要です。

【図1】

支援が必要な人のABCランク分けに取り組みましょう
(災害時には、優先順位を判断して、支援の力を高めます)

- Aランク・赤色 ● : 最も急いで避難支援が必要な人
動けない(寝たきり・医療器具を常に使用)人
自立生活ができない・介護度が高い・障害が重い人
判断できない人、意思疎通が難しい人
- Bランク・黄色 ● : 少しの支援で避難できる人
声かけや手引きにより、自分で避難・生活できる人
介護度が軽い、障害が軽い人
妊婦や小さな子どもを複数抱えた保護者、など
- Cランク・緑色 ● : 自分で避難できる人
独居高齢者であっても足腰元気で自ら声かけできる人



※ ランク分けの色は、医療トリアージを参考にしています
※ Aランク者は日ごろから専門機関の支援を受け、災害時支援につなぐことが望ましいと考えられます
※ 支え合いマップづくりの際、災害時支援のためのABCランク色分けを行い、災害にも強い地域づくりに取り組みましょう

(Bランクの方への対応)

自宅や近隣までは歩行可能だが遠方の避難所まで自力で避難することが困難な方等で、妊産婦や小さなお子さんが複数いる方などの移動支援

が中心になります。

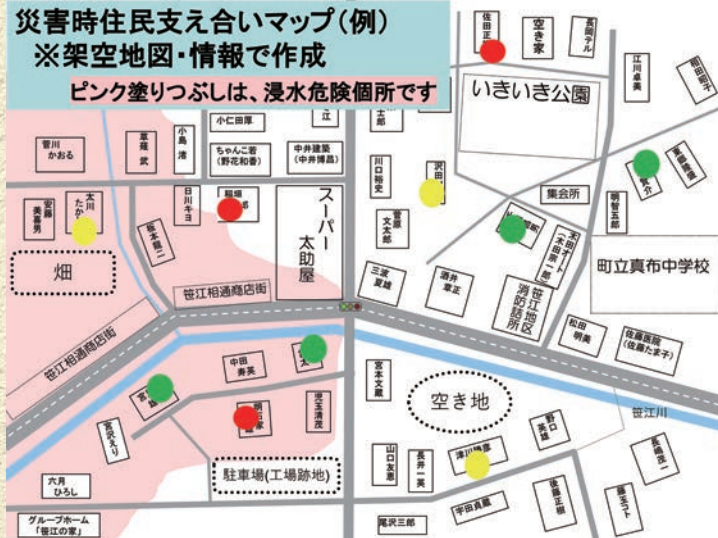
また外国人で日本語が得意でない方はテレビや防災無線等の避難の呼びかけが理解できず、自発的に避難行動がとれないおそれもあるため、外国語を使ったり、身振り手振りで危険を知らせるなど情報支援も必要になる場合があります。

（リンクの方への対応）

高齢であっても日頃から自分の意思で自由に移動ができる方等です。平時から災害時の対応について一緒に考え、どの段階で避難を開始するか、検討しておくことが地域の防災力向上になります。



【図2】



害時住民支え合いマップ」を作成し、地域と共有することで、よりよい支援方法を検討しやすくなり、効率的で安全な地域の防災活動に役立ちます。【図2は一例】

一目でわかりやすく
するために「災害時
住民支え合いマップ」
作成が有効

ABCアセスメントを名簿で整理するだけでなく、地域の地図に落とし込んで一目でわかるように災害

今後地球温暖化が進み、豪雨土砂災害が増える傾向にあります。また南海トラフ地震等大きな災害の発生も危惧されています。突然やってくる災害、発生してから対応を検討するのではなく、日頃から災害に備えた地域づくりを地域の皆さんと協働で進めていただきました。【図2は一例】

寄稿

令和元年東日本台風災害を経験して

（飯山市 月岡広報委員長）

自分が担当する飯山市木島地区は、千曲川とそこに注がれる支流に挟まれた地域ですので、過去、何度も水害の危険に見舞われています。

昭和57年には広範囲に住宅が水浸し、犠牲者は幸いにも出なかつたのですが、多くの牛や豚が犠牲となりました。

昨年8月の大雨の際には、1時間ごとに出される上流の水位の防災無線の放送に注意を払い、高齢者の避難指示が出る前に要支援者台帳に載っている対象者に電話連絡や訪問をして避難を促しました。

親戚や子ども達のところへ避難する人、デイサービスで通っている施設で受け入れてもらう人もいました。また、台帳には載っていないものの、寝たきりの夫がいる高齢者世帯は避難所へ行けないと判断し市役所へ連絡したところ、救急車を手配してもらい、病院で受け入れてもらうことができました。さらに地区の対策本部を立ち上げて

自治会の役員さんと協力して避難所までの送迎も行いました。

後で感じたことは、日ごろの訪問活動の中で災害時にはどのような行動をとるか、対象者に聞いて事前に把握しておくことや、行動ができない世帯にはどうするかということを念頭に置くことが大切なことだと思いました。



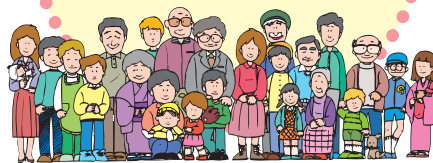
浸水した飯山市役所の駐車場

訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



南相木村民生児童委員協議会



▲揃いのユニフォームが伝統。前列中央が田村喜一会長

村のみんなが知り合い。委員の負担をなるべく軽くして持続可能な民児協に。

南相木川沿いに細く伸びる山あい190人が暮らす南相木村。標高1500mを超え、日本一高所にあることで知られる南相木ダムには、カラマツの紅葉を目当てにした観光客も少なくありません。美しいロックダムの裾は整備され憩いの公園となっています。定例会会場は「南相木村多機能多世代交流センター」内の和室。部屋の半分は床張りで、村民が自由に利用できるトレーニング機器を設置しているため、運動中の人のいる隣で会議ということもあるそうです。

そんな小さな村らしい和気あいあいの中で始まった定例会。会長の田村喜一（よしかず）さんが「炊き出し訓練お疲れさま。災害はないのが一番だが、訓練を実施すると問題もみえて本番で役立つ。年に一度は行いたい」と挨拶すると、事務局の住民課福祉係長・狩野秀浩さんが村民の動向を報告します。「〇〇地区の〇〇さんが亡くなり本日がお葬式。〇〇さんは〇〇県の人と結婚して転出、〇〇さんは要介護〇に。〇〇さんは〇〇市へ転出」と続きます。委員から「〇〇さんって誰？」の質問があると「〇〇さんの息子さんだよ」等の答え。全員がうなずきます。

委員からの報告は主任児童委員の「コロナ禍で授業参観も保護者のみとなり学校に行けなくなっている」だけ。今後の予定などを確認し、約20分で終了となりました。コロナのせい短縮ではなく、研修や意見などがない限りは元々これくらいのこと。「村の人はみんな知り合いだから」と笑う田村会長は、民生児童委員一週目でいきなり会長に抜擢されたそうです。



▲畳の部屋にテーブルと椅子で行われる定例会

「若いころ10年ほどサラリーマンをして以来、村に戻ってずっと菊作り農家。福祉は何も知らない」。初めての会長研修でとまどい、活動記録の付け方は先輩委員から教えてもらったといいます。

まだ66歳という現役まさかりで「7〜9月は菊の出荷で寝る間も惜しい。定例会も休みにしたいほど」。委員に現役の割合が高いのも会議時間に影響しているようです。

村の高齢化率は40・61%。「高齢化より少子化の方が問題。私のころは各学年60人くらいだった児童が今は全校で35人」と田村会長。一方、6戸の村営住宅に移住者が入居し子どもが増加、途絶えていた正月の獅子舞が復活しそうな兆しに期待を寄せています。

※訂正とお詫び／前号(145号)のP7信更地区の記事上段3〜5行目「8月1日現在で、世帯数873、人口1816人、高齢化率55.1%」でした。ここに訂正とお詫びをいたします。

山形村民生児童委員協議会



▲最前列の男性が古本政雄会長

コミュニティバスや福祉バスに体験乗車も。アイデアと積極性で地域を支える一翼に

アルプスの山並みを背景に田畑が広がり松本市、塩尻市、安曇野市にも通勤距離という恵まれた立地から移住者が多く、つい最近まで人口増加が続いていました。村の人口約8500人は県内有数の規模で、高齢化率は30%を切っているのが山形村です。

定例会は、遊歩道が整備され、福祉関連施設の集まる「いちいの里」内の研修室に19人の委員と連携機関の職員が並ぶ壮観な雰囲気

の中で始まりました。配布資料で目立つのは、全委員の名前にメモ欄をつけた「民生児童委員活動報告」です。「覧に従って各自が発表し、他地区の情報をきちんと共有しながら毎月活発な意見交換があるそうです。

事例から学ぶのを目的とした研修での議論も盛り上がりです。「コロナで親戚付き合いもできず

家族葬が増えているのだから、見守り対象者というだけで民生児童委員が葬儀に出席する慣習を見直すべきでは」という提案は、意見交換を経て合意。受け身で学ぶだけではないのが印象的でした。

会長は古本政雄さんです。副会長の宮沢房子さんと平沢妙香さん、また主任児童委員の中村清子さんも取材に同席しました。すべての活動が滞る「コロナ禍ですが、古本会長は特に「子どもたちのふれあい」が少なくなつた」のを憂慮し、同じく中止になつた協議会の親睦会費を有意義に使いたいと、委員の賛同を得て全児童488人に鉛筆を配りました。

子どもたちへの心配では中村さんも負けていません。「主任児童委員ほかいつも9人で行っていた



▲広い会場での定例会

音楽会も卒業式もなくなり、放課後に自由に遊べる「山形つ子タイム」での見守りも児童館での見守りもできない」と寂しげ。村の保育士だったことが主任児童委員の活動に大きく役立ち、やりがいを感じているといえます。松本市などに近いことから子どもたちの学校の選択肢が広い利便さはありませんが「交通費がかかる」という悩みも。コミュニティバスや福祉バスに委員が体験乗車して意見を述べることもあるそうです。

平沢副会長は「自分自身が独居その前は親をみていたので当事者のことが分かる」。それぞれの強みを生かしながら相互に教え合い切磋琢磨しながら、地域全体を支えるネットワークの重要な一翼を担っているようでした。



表紙写真紹介

「冬の西穂高岳へ向かう登山道入り口」

西穂高岳は松本市と岐阜県高山市にまたがる標高2,909mの北アルプス南部の山で、中部山岳国立公園に指定され、花の百名山にも選定されています。

撮影

安曇野市豊科地区
元民生児童委員

岡村 豊作さん
(おかむら とよさく)

profile 平成19年に4期務めた民生児童委員を退いて以降、今も地域の福祉活動に関わりながら趣味の写真に没頭し、前向きに過ごしています。



表紙写真募集!!

- 表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしている方、民生児童委員の方々の地域の風景やお祭りなどの風物詩を撮った写真を募集します。
- デジカメで撮った作品の電子データをCDRに入れて、
- 撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。
- 詳細は県事務局(026-225-1613)まで。

長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

令和3年11月13日(土) 第70回長野県社会福祉大会において表彰

○永年勤続民生委員児童委員表彰(在任期間10年以上:40名)

Table listing 40 recipients of the Long-term Service Award for Child Welfare Officers, including names and municipalities like 軽井沢町, 本島, 和美, etc.

○優良単位民生委員児童委員協議会表彰 4民児協

松本市和田地区民生委員・児童委員協議会 / 上田市丸子第2地区民生児童委員協議会 / 伊那市西箕輪地区民生児童委員協議会 / 中野市長丘・平岡地区民生児童委員協議会

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

令和3年10月26日(火) 第90回全国民生委員児童委員大会において表彰

○永年勤続民生委員・児童委員表彰(在任期間10年以上:90名)

Table listing 90 recipients of the National Long-term Service Award for Child Welfare Officers, including names and municipalities like 御代田町, 萩原, じゅん子, etc.

○民生委員・児童委員功勞表彰(在任期間20年以上:1名)

長野市 伊藤 篤志

○優良民生委員児童委員協議会表彰 3民児協

箕輪町民生委員・児童委員協議会 / 小川村民生児童委員協議会 / 小諸市東部地区民生委員・児童委員協議会

長野県社会福祉協議会会長表彰

令和3年11月13日(土) 第70回長野県社会福祉大会において表彰

○社会福祉功勞者 民生・児童委員表彰(在任期間10年以上:95名)

Table listing 95 recipients of the Social Welfare Merit Award for Child Welfare Officers, including names and municipalities like 軽井沢町, 土屋, 和子, etc.

全国社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功勞表彰(在任期間15年以上:8名)

Table listing 8 recipients of the National Merit Award for Child Welfare Officers, including names and municipalities like 長野市, 早川, 美知子, etc.

秋の勲章・褒章(民生委員・児童委員関係)

長野市 伊藤 篤志(藍綬 社会福祉功勞) / 上田市 小宮山 好豊(瑞単 警察功勞)

*各会表彰規程等の基準日が異なっているため被表彰者が異なります。



広報委員 リレー日記

新年を迎えて、民生児童委員の皆さんの思いは、「今年こそ、コロナ禍前の日常が戻り、充実した活動ができませんように。」ということだと思えます。今回の特集では、近年の異常気象による豪雨災害等にどう備えるか、松本市の要支援者名簿の活用、緊急時の伝達メールの事例と県社協の推進するABCマップの事例を紹介しています。ご参考にすれば幸いです。昨年、師走に開かれた本誌の編集委員会で話題になったのは、今期の新任の委員の皆さんが、コロナ禍での活動にストレスを感じ、民児協活動の良さを実感できないまま改選時に辞めてしまつた方が増えてしまつたことを危惧する声でした。そこで、次号では、民児協活動の原点を見直す内容の特集を組むことになりました。最後に、昨年十月に、第九十回全国民生児童委員大会が京都市で開催され、本県からは伊藤会長と事務局の二名が参加しました。大会の様子は全児児連のホームページをご覧ください。(委員 赤羽節夫)

広報委員/委員長 月岡 幽美子(飯山市)・山口 三千夫(上田市)・赤羽 節夫(松本市)・林 みな(岡谷市)